

## きゆな智子 活動記録

きゅーちゃんこときゆな智子の昨年の活動を、写真と共に振り返ります。



奥武山公園のラバブロックの補修について相談がありました。3月末までに修繕完了予定です！



後原ヒージャー小の周辺にコケが生えていると相談がありました。道路管理課に相談し、清掃してもらいました！

小禄病院近くの木が延びていた高い箇所を、県道路課に伐採してもらいました。



きゅーちゃん  
が行く



### 航空連合訪問

航空会社はコロナ禍の影響を大きく受けている業界です。仕事が減っている分はスキルアップ研修で対応できる職種もありますが、整備などの資格保持者は先が見えない中で更新費用をどうするか等の課題もあります。



### 子ども食堂のボランティア支援

食育講座も兼ねた子ども食堂で、月1回ボランティア！(2021年11月)



### 沖縄県環境衛生研究所にて

沖縄県環境衛生研究所にて、コロナ分析についてお話を伺いました。予算・人員・仕組みともに課題が多い。(2021年9月9日)

### 那覇軍港移設問題

聞き取り調査で浦添市役所へ。(2021年6月15日)



日々の議会活動やつぶやきはこちらのTwitterから！  
きゆな智子 沖縄立憲民主党(立憲) @KiyunaTomoko



これまで定例議会が終わるごとに  
YouTubeチャンネル『きゆな智子Q-Channel』にて、  
議会報告を動画でお届けしております！



PC・スマホでチェック!!

きゆな 智子 連絡先 〒900-0021 那覇市泉崎1-2-3 沖縄県議会 立憲おきなわ(502号)

TEL 098-866-2432 E-mail [qkiyuna@gmail.com](mailto:qkiyuna@gmail.com) <http://kiyuna-tomoko.com/>

沖縄県議会議員

# きゆな 智子

議会報告 第3号

ごあいさつ

日頃よりのご指導とご声援に 感謝 申し上げます。

2021年度はコロナ関連以外のご相談もお寄せいただくようになりました。

その中で、奥武山公園 ジョギングコースの安全性について地域住民の方よりご指摘を受けました。

ラバブロックに消耗してはズレている部分があります。

県の公園管理課につなぎ、利用者の安全のため、

ゴムチップ舗装で2022年3月末までに修繕が完了する予定です。

他にも小禄病院付近の街路樹の伐採や、

奥武山公園駅・小禄駅 近くの県道のコケで転びやすくなっているところを、

県の迅速な清掃対応につなぐことができました。

久米島の生活道路、屋間味島の治水事業についても

島民の声に基づき 県事業を進めるよう、現地調査と県への働きかけを続けています。

次年度は国のハードな付金が減額となり、

自治体のインフラ事業に影響が出てくると予想されます。

お困りのことがありましたらぜひ情報をお寄せ下さい。

少しでも改善につながるようがんばります。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

沖縄県議会議員 喜友名 智子



# 那覇空港港国際線再開に向けての準備の動きすら見えないことが問題

『那覇空港国際線の運航再開への取り組みについて』（令和3年11月定例会より）

コロナ終息後を見据えて、那覇空港港国際線の運航再開に取り組んでいます。

きゆな智子

那覇空港の国際線は、長期に渡って飛行機が飛んでおりません。一方、コロナの流行が収まった段階で、国際線を再開させた空港もあると思います。どういった空港でしょうか。

文化観光スポーツ部長

令和3年11月現在、国際旅客の受入れを行っている空港は羽田、成田、関西国際、中部国際、福岡空港の5つです。

きゆな智子

5つの空港の国際線が再開された経緯を伺います。

文化観光スポーツ部長

中部国際空港の場合は、愛知県、岐阜県、三重県の3県と名古屋市が、地元経済団体とともに厚生労働省等の関係省庁へ要請したとのことです。福岡空港の場合は、九州各県にとって重要な韓国及び中国路線が運休していたため、その再開を福岡国際空港株式会社、九州経済連合会、福岡県が共同で国に対して再開を要請したとのことです。

きゆな智子

中部国際空港や福岡空港のように、那覇空港の国際線を再開するための課題は何でしょうか。

文化観光スポーツ部長

人検疫の体制整備の課題があります。入国者の待機または隔離するための宿泊施設の確保、那覇空港内の動線の確保、移動手段の確



保等、そういった条件整備を整える必要があります。また、国際線は1度開港すると、それを急に止めるということができません。県内の感染状況や医療提供体制が、どの段階であれば国際旅客を受け入れることができるかという点で、慎重な判断が必要だと思っています。

きゆな智子

人検疫の体制整備と県内の感染状況が改善したとの前提で、国際線再開に向けて準備をする部署、再開の判断をする部署はどちらでしょうか。

企画部長

航空関係者だけではなく、経済界あるいは医療関係者との調整も必要になるかと思いますが、航空行政に関しては、国交省の航空局と状況について意見交換をしたいと思います。

きゆな智子

国際線の航空会社の皆さんは、今すぐ再開して欲しいと考えているのではなく、再開に向けての準備の動きすら見えないことが問題だと思っています。中部国際空港と福岡空港の事例では、自治体が経済団体と共に国に要請を行っています。要請をしたからといってすぐに再開するわけではなく、相応の時間がかかると思います。こういった時間がかかる準備を、なぜ今から事前に動いておかないのでしょうか。国との意見交換はもちろん大切ですが、業界の皆さんとの意見交換も行い、県の主導で再開に向けた行動をとっていただくよう、お願いします。

## 拡大するヘイトスピーチ 規制条例制定に向けて今後も根気強く取り組みます

『ヘイトスピーチ規制条例について』（令和3年8月定例会より）

きゆな智子

ヘイトスピーチ規制条例制定に向けた進捗状況と今後のスケジュールを伺います。

子ども生活福祉部長

有識者や関係団体等と引き続き意見交換を行い、方向性について検討していきたいと考えており、できる限り早期の条例制定に向け、取り組んでまいります。

きゆな智子

なぜ県で条例制定についての議論が出てこないのかという点について、県民から非常に強い批判をいただいています。今まで専門家からいただいた知見は、どのようなものでしょうか？

子ども生活福祉部長

憲法上保障されている表現の自由を制限することと規制のバラ

スを考えることという点について、先進的に条例を制定した市の判例等を踏まえた御意見がありました。また、規制を行うのであればどの範囲を対象にするのか、そしてどのような言動を対象にするのかを明確に厳密に規定をしなければならないが、その一方で定義するヘイトスピーチが限定されると、それ以外は許されるという誤解も与えかねない、というような様々な御助言がありました。今後はそのような意見を整理し、県としてどのような条例がふさわしいのか検討したいと考えております。



ヘイトスピーチ規制条例の必要性を訴える市民団体からの要請を受ける。(2021年6月15日)

## 外部の調査委員会がしっかりとした調査をしなければ、本件の真相は見えてこない

『県立高校部活動生自死事案について』

(令和3年7月15日文教厚生委員会より)

事案の重要性から、文教厚生委員会で陳情者と遺族を参考人として招致し、質疑を行いました。

きゆな智子

現段階でどういった調査をすべきと考えているか、参考人のご意見を教えてください。

参考人

調査方法、調査項目、対象者の範囲等、丁寧に時間をかけて調査を行うべき事案だと考えています。過去に新潟県で起こった指導死事案の調査に関わった世取山新潟大教授は、本件の調査期間20日はあまりにも短く、しっかりとした調査を行うためには2年は必要であるとの見解を示しています。そして、こういった時間をかけた調査は教育委員会だけで行うのは難しいとの指摘もありました。外部の調査委員会がしっかりとした調査をしなければ、本件の真相は見えてこないと考えています。

## 女性の社会参画は、女性のためだけではなく、多様な議論を生み、よりよい社会を実現するための重要な一歩です。

『女性登用及び女性管理職の現状について』（令和3年2月定例会より）

きゆな智子

審議会での女性登用及び女性管理職の現状と、知事部局と教育委員会による女性登用率を上げるための取組について伺います。



子ども生活福祉部長

令和2年4月時点における県の審議会等における女性の登用率は29.9%です。各種委員会を含む県の管理職に占める女性の割合については、13.3%となっております。

きゆな智子

部局により女性の管理職が多い・少ないという傾向があるように感じています。地元紙の記事には、男性は総務・企画系、女性は福祉・医療系の系統が多いというものもありました。将来的な執行部の女性の割合について、具体的な数値目標はありますか。

総務部長

これまで前例のない場所に女性を配置するということで、例えば、土木部の統括監に初めて女性を配置した例があります。将来的な執行部の女性の割合について具体的な数字を提示することは難しいのですが、こういった取組を通して、女性職員の登用率を高めたいと思っています。

きゆな智子

私も同様に、20日間の調査期間では全く短いと考えています。関係者の中には、時間の経過とともに本件について話せるようになる方がいるかもしれません。そういった観点からも、時間をかけた調査が必要だと思います。



請願を採択し、文教厚生委員会として、県に要請を行いました。(写真 琉球新報社 提供)

きゆな智子

管理職や政策決定の場に女性が進出するということが大事だと思います。引き続き管理職の登用率は高めていただきつつ、専門職で女性が長く働ける職場づくり、県庁づくりに取り組んでいただきたいと思います。



議会の男女構成比はもちろん、執行部の男女比にも大きな偏りがあるのが現状です。

